

# 第3章

## 重点施策



フォークダンスのつどい



中学生のボランティア活動（花づくり）

# 第3章

## 重点施策

### 1 区民の多様な「学び」を通して元気な葛飾をめざします

#### 「かつしか区民大学」(仮称)の開設

葛飾区基本計画の基調である『区民と創る元気なかつしか』の実現のため、学びと交流を大切にしたい区民の学習の場として、「かつしか区民大学」(仮称)を開設します。

区民大学は、生涯を通じて「学びたい」という区民の声に応え、様々な学習の場とします。また、自らの経験や学びの成果を、地域や社会のために役立たせたいという方に、生涯学習のリーダーとして、または担い手として活動する道を用意します。

講座等の内容としては、葛飾の特徴や魅力を調べ、発見し、分かち合う「葛飾学」をはじめ、文化・教養、ボランティア、健康・スポーツなど多様な学習分野を設けます。ワークショップ\*、実践交流プログラムを重視しながら、それぞれ入門・応用的なコースを設け、「区民力」を高めることを支援していきます。また、区だけでなく、大学、各種学校等との共催による講座、ワークショップ等も検討していきます。講師は、学識経験者だけでなく区民、団体、事業所、NPOなどの有識者等にもお願いし、区がかかわる分野では区職員も参加します。

各講座には単位制を設け、一定の取得単位に応じて認定証を発行します。また、学びを地域に還元するしくみとして「生涯学習マイスター\*」認定制度を設け、各種講座の企画・運営、地域活動、ボランティア活動等の担い手として活躍できる人材の育成を図ります。

区民大学の運営および事業の企画については、区民と区の協働運営を基礎とした外部有識者を加えた三者による企画運



町歩き調査(葛飾探検団)

営組織で行い、区民の多様な学習要求に応えていきます。

会場は、地区センター、学び交流館などの地域コミュニティ施設や博物館、図書館、学校などを活用します。

### わがまち楽習会の実施

それぞれの地域や区民の暮らしの課題に着目し、地域の人々と区が協働して創る学習会を創設します。皆で楽しく学び、“まち”への愛着を深めるという意味を込めて名称を「わがまち楽習会」とし推進します。

「わがまち楽習会」では、地域力の向上をめざし、学び交流館をはじめとする地域コミュニティ施設などを活用し、特に地域で学びの要望があるテーマや地域に着目したテーマについて学び考え、交流し、仲間づくりも進めます。

実施にあたっては、「かつしか区民大学」（仮称）で学んだ生涯学習マイスターをはじめ、地域の各種団体や生涯学習のリーダーにも、テーマによって参加、参画をお願いします。地域の自然や文化、安全対策、知識・教養、健康づくり、子育て支援など、これまで知らなかったこと、気づかなかった現状や問題を学ぶことからはじめ、知識を広げ、技術・ノウハウを学び、区民としての対応の仕方、解決の方法について仲間と一緒に学んでいきます。

### 郷土と天文の博物館事業の推進

郷土と天文の博物館は、葛飾区の生涯学習施設として全国に誇れる施設であり、葛飾ならではの事業を実施しています。

常設展示については、学校教育での活用はもちろん、区民の幅広い利用が進むように、「昭和の生活や文化、産業等」関連の展示の充実を図ります。

また、博物館事業としては、葛飾の歴史について体験的に学習する「葛飾郷土塾」や最新の天文学を学ぶ「葛飾宇宙塾」、収蔵資料のインターネットでの公開などの事業に新たに取り組みます。これらの



天文教室（郷土と天文の博物館）

事業実施にあたっては、「かつしか区民大学」との連携を図っていきます。またプラネタリウムドームなどのリニューアルを行ないます。

## 図書館サービスの充実

近年、区民の生涯学習活動の高まりや小中学校における読書活動の推進などから、読書への関心が高まってきており、読書環境の整備は極めて重要な課題となっています。

葛飾図書館では、区民の生涯学習の推進のために「葛飾区立図書館基本計画」に基づき、図書資料の収集と提供、図書館サービスの拡充を進めています。

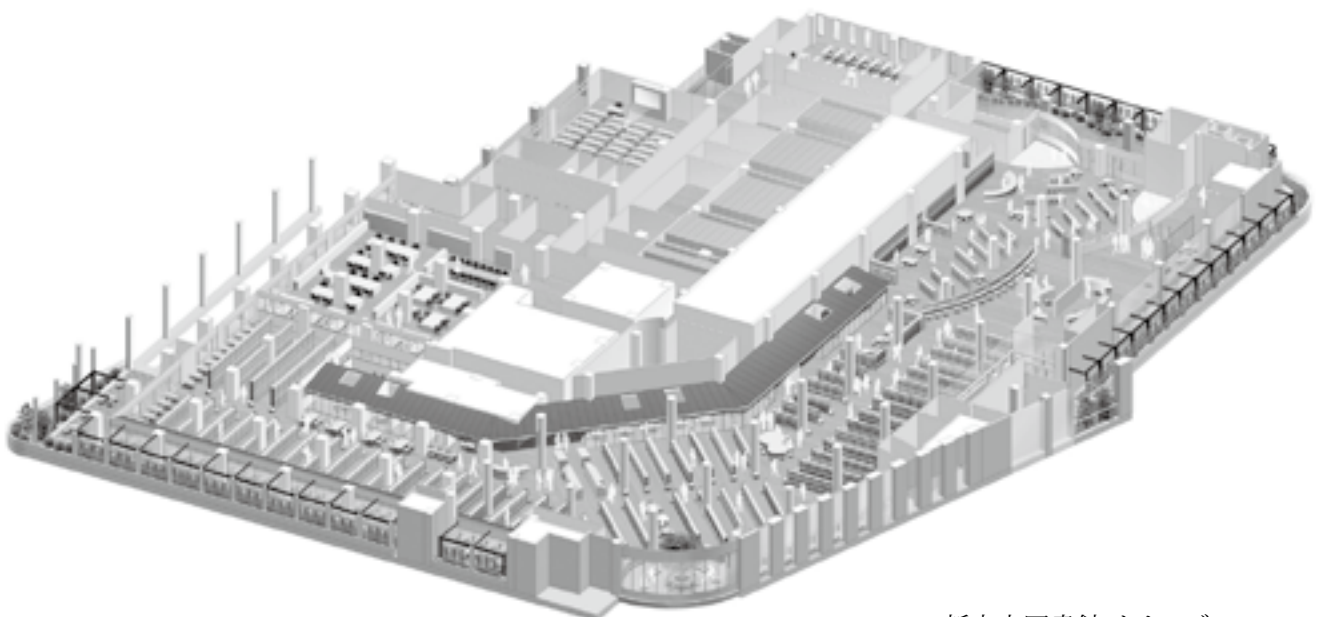
また、新中央図書館の建設を契機にIT技術を活用した貸出・返却手続きの円滑化、インターネットやデータベースに

よる情報提供、ビジネスに関わる資料を分かりやすく提供するビジネス支援事業などに取り組みます。

さらに、図書館利用の利便性拡大のため、開館日数や開館時間の拡大について検討を行うとともに、図書館ボランティアの育成、ボランティア団体との連携に努めます。

学校図書館への支援としては、学校でのブックトーク\*、学校への図書配送サービス、図書館利用教育の情報提供などを進めます。また、保健所や子育て支援部との連携によるブックスタート\*事業などを拡充します。

読書ボランティア研修、区民向け学習会の開催の他、図書館を中心として活動をする様々なボランティア団体や「葛飾図書館友の会」などの区民組織と連携を図ります。



新中央図書館イメージ



## かつしか地域スポーツクラブの推進

子どもから高齢者まで区民一人ひとりが、身近な地域で豊かなスポーツライフを楽しみ生き生きと暮らせるよう、地域の人々による地域単位の新しいスポーツ・文化クラブとして、「かつしか地域スポーツクラブ」の設立を支援、育成します。

当面は、区内7地域における設立を目指し、順次、区民の理解と協力を深めて拡大していきます。



体操教室（地域スポーツクラブ）

育成にあたっては、かつしか地域スポーツクラブ育成検討委員会においてモデル地域を選定し、設立に向けた手法やノウハウの蓄積と課題を、検証しながら進めます。

## 2 学校と地域が連携・協働し、子どもの育ちを応援します

### 学校地域応援団の推進

葛飾区では、これまでも地域の各種団体などによる様々な学校支援の活動が行なわれてきました。これらの地域の自主的な支援活動をさらに進め、学校ごとに支援の輪を広げます。具体的には、学校の求める支援内容に対して、自治町会をはじめとする地域の諸団体、PTA、青少年委員、ボランティア、一般区民に広く参加を呼びかけ、参加者の経験や知識、智慧を紡ぎ織りし、地域が学校を応援する「学校地域応援団」としての活動を立ち上げます。

実際の支援活動は、各学校で必要とさ

れる内容に沿って「応援団」の実情をふまえた協議によって、自主的に取り組める内容を基本とします。

### 放課後子ども事業の充実

放課後子ども事業「わくわくチャレンジ広場」の広がり実績を踏まえ、運営委員会、学校、地域人材の協力のもと、これまでの自由遊びを基本にしつつ、学習・文化・スポーツ活動など、新たな活動プログラムを導入していきます。活動プログラムの指導は、教員経験者や学生ボランティア、文化・体育団体、NPOなどの協力を得て行ないます。加えて、団塊の世代をはじめとするシニアの人々、

子育て経験者や現役の保護者、中学生や高校生のボランティアなど、多様な世代の「わくわくチャレンジ広場」への参加を募ります。

また、すべての児童にとって充実した放課後事業となるように学童保育クラブなどとの連携を進めます。



わくわくチャレンジ広場での自習

### 3 地域全体で子育て・家庭教育への支援を進めます

#### 家庭教育への啓発・支援

地域における人間関係が希薄化するなかで孤立しがちな保護者、様々な理由で学びの機会に参加しにくい保護者に対しても、家庭教育の大切さや指針を示していくことは重要です。そのため、乳幼児検診や就学時検診、入園・入学説明会など、多くの親が集まる機会を活用して、家庭教育情報の提供や相談窓口の紹介な

ど、細やかな支援策を実施します。

また、生活リズムや食事が子どもの成長発達に重要なことを伝える「早寝・早起き、朝ごはん運動」や栄養や健康を視野に入れて自ら調理体験を重ねることや食事のマナーの習得もふくめた「食育」の推進など、子どもの生活習慣の改善や家庭の役割について普及、啓発活動を引き続き展開していきます。

新たな取組として、親子の絆を強めるため、「ノーテレビ・ノーゲームデー<sup>\*</sup>」を活用して一緒に家事をすることや、「子どもの誕生日に本を贈ろう」などの取組により読書の大切さを伝え、これをきっかけにして、日頃からの親子の会話を奨励します。

あわせて、小学校長会から提言された「かつしか家庭教育のすすめ7か条」などをもとに、「かつしか家庭教育のすすめ<sup>\*</sup>」を作成し、家庭教育への取組を促します。



子どもフェスティバル（ジュニア・リーダー講習会）

さらに、区民ぐるみ、地域ぐるみで子どもの教育を推進していくために、「子どもをみんなで育てる葛飾区民憲章」(仮称)の制定について検討していきます。

### 子育て・家庭教育に関する 学習機会の提供

家庭教育に関する学習機会を提供するため、保健所、児童館、保育園との連携による乳幼児保護者を対象とする「子育て・家庭教育講座」や、小・中学生の保護者を対象とした学習機会を拡充します。

また、子育て・家庭教育に関する自主的な学習を推進するために、幼稚園・保育園や学童保育クラブの父母会、PTA、子育てグループなどの学習を支援す

る「子育て・家庭教育応援制度」を充実します。

さらに、幼稚園、保育園、小学校における「早寝・早起き、朝ごはん親子コンサート」や親同士の経験交流会の開催などを通して、子どもの基本的な生活習慣の確立を支援します。加えて、孤立しがちな乳幼児期の保護者同士が気軽に集い、交流し、学びあうことのできる「子育てサロン」型学習の実施について、関連部課等と連携しながら検討します。



子育て学習会

## 4 生涯学習推進体制の整備を進めます

### 生涯学習情報システムの構築

区民の生涯学習への参加を促し、学習活動が充実・活性化し、交流が進むように、インターネットを活用した生涯学習情報システムの整備を行います。

区民がいつでもどこでも気軽に必要な情報が入手できるような提供体制を構築

し、学習機会の情報、施設情報、人材・指導者情報、教材情報が入手でき、実際に活動している団体などの活動や成果もアクセスできるような情報システムとします。

### 中央図書館等の整備

区民の学習意欲の高まりやインター





新中央図書館完成予想図（金町駅前再開発ビル3階）

ネットをはじめとする情報通信技術の発展などに伴う、新たな図書館サービスへの区民ニーズに対応し、新中央図書館を平成21年秋に開館します。

この図書館は、金町駅前という交通の便利な場所に、ワンフロアで5,000㎡の広さをもつ図書館として、都内でも例を見ない施設となります。また、知的文化の拠点とすることを基本的コンセプトに、40万冊以上の蔵書を可能とし、一般から専門性の高い図書まで幅広く収集します。

さらに、生涯学習の拠点施設として、IT化社会の進展に応えられるインターネットやデータベースの提供など先進的機能を備え、かつ、ビジネス支援や区民の方々が抱える様々な課題の解決を支援する図書館として整備していきます。この施設は、全ての利用者が快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインにも配慮します。

また、立石図書館は老朽化に伴う建替えを契機に、新しい時代に相応しい、地

域に立脚した図書館として、平成23年度にリニューアルオープンの予定で整備を進めます。

図書館利用不便地域には、今後も、学校の余裕教室などの既存施設の有効活用により、整備の拡大を図っていきます。

## スポーツ施設の リフレッシュ事業の推進

子どもから高齢者まですべての区民が、気軽に、安全・快適にスポーツを楽しめるように、総合スポーツセンター体育館、温水プール、エイトホール、野球場の改修・整備を行います。老朽化が顕著な水元体育館については、早期に改築を行います。

また、近年の競技種目や区民スポーツサークル活動等の増加に対応して、スポーツ団体、体育施設指定管理者と連携し、スポーツ施設の利用時間や利用可能種目等を見直し、施設の利用拡大と有効活用に努めます。



カヌー体験教室（総合スポーツセンター温水プール）